

周南市道路附属物（横断歩道橋）

長寿命化修繕計画

平成30年3月

山口県 周南市

## 1. はじめに

本計画は、周南市道路課が管理する「横断歩道橋」に関して、点検および補修計画を定め、適切な維持管理を行う事により、安心・安全の確保、中長期的な維持管理費の削減や予算の平準化を図ることを目的とする。

## 2. 対象施設

本計画の対象施設は、周南市道路課が管理する「横断歩道橋」とする。

## 3. 計画期間

本計画の計画期間は平成30（2018）年度から平成34（2022）年度とする。

## 4. 対象施設の状況

道路課が管理する横断歩道橋は4橋あり、平成27年度に点検を実施している。

管理施設の諸元と点検結果

横断歩道橋	路線名	建設年	諸元	架橋位置の特徴	点検結果
月丘町横断歩道橋	月丘町二番町線	1968年	L=11.0m W= 1.7m	今宿小学校・ 通学路	Ⅲ
新地口歩道橋	福川中市町9号線	1987年	L=21.9m W= 1.9m	福川小学校・ 通学路	Ⅱ
有楽橋	岡田原築港線	1960年	L=11.0m W= 2.0m	JR徳山駅近郊・ 通勤路	Ⅱ
清水地下道 横断歩道橋	駅前・野村開作線	1987年	L=11.6m W= 2.3m	JR新南陽駅近 郊・通勤路	Ⅲ

平成30年3月現在

### 【参考】健全性区分の分類

区分	判定内容
I 健全	横断歩道橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	横断歩道橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

## 5. 維持管理の基本的な考え方

### 1) 基本方針

横断歩道橋の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえ、適切な措置を行うことで、事後保全型の維持管理から予防保全型の維持管理に転換し、ライフサイクルコストの縮減を目指す。

### 2) 点検計画

- ①定期点検は、『山口県横断歩道橋定期点検要領（案）』最新版に基づき、委託点検と職員点検を併用し実施する。  
初回点検を平成27（2015）年度とし、5年毎に近接目視点検を実施する。
- ②補間点検は、定期点検の結果、早期措置が必要な横断歩道橋に対して、現場条件や財政上の都合等で措置が実施できない場合に補間点検を実施する。補間点検の手法は遠望目視点検等も含む。
- ③緊急点検は、災害時において、周南市の地域防災計画（最新版）等に準じて緊急点検を実施する。事故等により突発的に損傷した場合や類似構造に問題を及ぼす損傷が発現した場合は、同様に緊急点検を実施する。

### 3) 点検及び対策の記録

横断歩道橋の点検結果及び補修等の対策実績およびその他施設の維持管理に必要な情報等については、その内容及び実施時期を確実に記録、保管し、引き続き適切な維持管理を行う為の情報として活用する。

## 6. 対策の優先順位の考え方

本計画では、補修等の措置が必要とされる区分Ⅱ及び区分Ⅲを対策対象とし、優先順位の考え方は以下のとおりとする。

### 優先順位1：早期措置段階（区分Ⅲ）の対策

→損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し優先的に補修を実施する。

早期措置段階（区分Ⅲ）については早急な対策が必要であり、損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し優先的に補修を実施する。

### 優先順位2：予防保全段階（区分Ⅱ）の対策

→巡視等により異状が認められた舗装について必要な補修を行う。

予防保全段階（区分Ⅱ）については、早期措置段階（区分Ⅲ）の対策を優先するため経過観察とし、巡視等により異状が発見された施設について、必要な補修等を実施する。

ただし、路線の重要性、交通量等を踏まえ、長期の通行規制などが困難な路線については長寿命化を図ることが望ましいため、予防保全的な補修等を実施する。

## 7. 対策内容、対策費用及び実施時期

### 1) 対策内容

対策の優先順位に及び考え方にに基づき、早期措置段階（区分Ⅲ）の補修を計画的に実施し、予防保全段階（区分Ⅱ）については、長寿命化を目指した補修等を行うことを検討する。

【参考】想定される損傷の種類と対策工法例

部材	損傷の種類	主な対策工法
鋼部材	腐食、亀裂、破断、変形・欠損、 摩耗、防食機能の劣化	塗装塗り替え、当て板、表面保護工、部材取替え
コンクリート 部材	ひびわれ、漏水・遊離石灰、うき、 剥離・鉄筋露出、欠損	ひびわれ補修工、断面修復工、表面保護工
その他	漏水・滞水、変形・欠損 舗装ひびわれ、剥離等	舗装打替え工、橋面防水工 剥落・落下対策工

### 2) 対策費用

対策費用は、本計画期間内で約20,000千円を見込んでいる。

### 3) 実施時期

実施時期は本計画の計画期間内とし、計画的な対策実施に努めるものとする。

※対策内容、対策費用等の概要については、巻末資料参照